

三豊総合病院雑誌

Journal of Mitoyo General Hospital

Vol.37

December 2016

内 容

巻 頭 言	三豊総合病院雑誌第37巻の刊行によせて……………	岡田 裕之 ……	1	
研 究	当院における超高齢者に発症した前立腺癌の現状……………	上松 克利 ……	4	
	介護老人保健施設利用者のスピーチロックに対する職員の意識改革……………	原 リエ ……	8	
	不安の強い患者のセルフケア支援 - 自己導尿と人工肛門の管理が必要となった場合 - ……………	鈴木 紗代子 ……	13	
	当院での音声機能改善手術について……………	福村 崇 ……	18	
	腹水濾過濃縮再静注(CART)における濃縮倍率の見直し……………	鈴木 輝 ……	25	
	アクションカード改訂による災害対策と今後の課題……………	頭 師 哲矢 ……	31	
	当院における持参薬オーダシステムを利用した鑑別業務の運用構築……………	石井 照樹 ……	35	
	3D MRCP至適呼吸間隔の検討……………	住 晃輔 ……	39	
	症 例	当院訪問リハビリテーションの取り組み……………	高橋 英樹 ……	43
		食欲低下を訴える患者への看護 ～食欲低下の誘因を考察・看護展開を通して～……………	梶 平 美幸 ……	49
日齢0に発症しSCN8Aのミスセンス変異を認めた Early-onset epileptic encephalopathy (EOEE) の1例……………		萩 田 博也 ……	55	
2期梅毒の多彩な皮膚症状を呈した一例……………		濱 中 裕子 ……	61	
Edwardshiella tardaによる敗血症を引き起こした急性胆管炎の1例……………		松 浦 宏樹 ……	67	
健診での高アルカリホスファターゼ血症から明らかとなった 原発性副甲状腺機能亢進症の一例……………		浅 野 洋介 ……	71	
報 告		第9回三豊総合病院学会を開催して……………	正 岡 哲也 ……	75
		栄養管理科での防災への取り組みと科内訓練について……………	高橋 朋美 ……	84
	当院における輸血検査業務の現状と輸血後感染症検査 実施率向上への取り組み……………	井川 加奈子 ……	89	
CPC記録	……………		94	
診療実績及び 活動報告	……………		101	
研究教育活動	……………		186	
投稿規定	……………		207	
編集後記	……………		208	

Journal of Mitoyo General Hospital

Journal of Mitoyo General Hospital

Vol.37

December 2016

CONTENTS

Special Article	Hiroyuki Okada.....	1
Research		
Current Situation of Prostate Cancer Developed in Very Elderly People	Katsutoshi Uematsu et al.	4
Changes in Awareness of Verbal Restraint for Clients at Geriatric Health Facility	Rie Hara et al.	8
Self-Care Support for Patients with Strong Anxiety -When Self-Catheterization and Management of Stoma Are Needed-	Sayoko Suzuki et al.	13
Surgical Improvement of Voice Function	Takashi Fukumura et al.	18
Review of Concentration Rate for CART (Cell-free and Concentrated Ascites Reperfusion Therapy)	Hikaru Suzuki et al.	25
Disaster Preparedness with Revised Action Card and Remaining Challenges	Tetsuya Zushi et al.	31
Reconstructing Operation for Drugs Brought in	Teruki Ishii et al.	35
Review of Optimal Respiratory Interval for 3D MRCP	Kosuke Sumi et al.	39
Case Reports		
Home-visiting Rehabilitation of Mitoyo General Hospital	Hideki Takahashi et al.	43
Nursing of Patient with Anorexia ~Cause identification and development of nursing care~	Miyuki Kajihira et al.	49
A Case of Early-onset Epileptic Encephalopathy (EOEE) with SCN 8A Missense Mutation - Onset at Day 0	Hiroya Ogita et al.	55
A Case of Stage II Syphilis with Multiple Skin Symptoms	Yuko Hamanaka et al.	61
A Case of Acute Cholangitis with Sepsis caused by <i>Edwardsiella tarda</i>	Hiroki Matsuura et al.	67
A Case of Primary Hyperparathyroidism with hyperkalphosphatasemia identified during the health checkups	Yosuke Asano et al.	71
Miscellaneous		
Organizing the 9th Hospital Scientific Meeting	Tetsuya Masaoka	75
Disaster Preparedness and Emergency Drills at Department of Nutritional Management	Tomomi Takahashi et al.	84
Current Pre-transfusion Testing Status and Program to Improve Post-transfusion Testing for Viral Infection	Kanako Ikawa et al.	89
Report of CPC		94

三豊総合病院雑誌第37巻の刊行によせて

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
消化器・肝臓内科学教授

岡田 裕之

三豊総合病院雑誌第37巻の刊行おめでとうございます。また、このたび巻頭言寄稿のご依頼を頂戴し、誠に光栄に存じます。

私自身は三豊総合病院に勤務したことはございませんが、私たち消化器・肝臓内科学(旧第一内科)にとりまして多くの同門の先生方が活躍されている重要な関連病院です。私自身は2回内視鏡治療のお手伝いに伺ったことがありますが、医師と看護師さんたちメディカルスタッフとの連携がよくできていると実感したのを覚えております。また、医局長時代に若手の先生の人事にも関わりましたが、三豊総合病院を経験して大学に帰局された先生達は若くても即戦力の鍛えられた人たちが多かった印象です。

最近では、新西棟完成、新中央棟増築完成の落成式に出席させていただきました。落成式でのご挨拶をお聴きし、また、参加されている方々と直接お話しさせていただき、三豊総合病院が西讃地区、そして香川県の基幹病院として、地域の患者さん、医療機関はもちろん、政財界においてまで、ゆるぎなき信頼と期待を担っていることを肌で感じました。その際、記念品としていただきました、今井正信名誉院長の著書はご自身の自叙伝的な要素を持ちながら、三豊総合病院の沿革そのものであり、苦労しながら地域と協調しながら、いかにして三豊総合病院が発展して、今の立派な姿になったかが、臨場感をもって伝わってきて、非常に興味深く、感銘を受けながら一気に読みしまいました。そして、その方向性は廣畑 衛先生、白川和豊先生、安東正晴先生と歴代の院長先生はじめ職員の皆さんに受け継がれ、形を変えながら発展し、現在に至っているのだと思います。

若い先生のなかに「三豊病院大好き！」といつも公言している方がいらっしゃいます。そういうのを聞くと非常に嬉しく思います。きっと同じように思っている方が院内には多数いらっしゃると思います。そのような方がいらっしゃるからこそ、病院が進化・成長を続けているのだと思います。

私は、若い先生や卒業していく学生に医療人として重要な4つの「S」を掲げています。医師としての技量を高める「Skill」、研究者の視点をもつこと「Science」、患者さんのhospitalityの方が適切かもしれませんが「Service」。ここまでは、言葉を変えて他にも表現されていることもあります。もうひとつ重要な、4つ目の「S」として「Satisfaction」。それは患者さんに満足していただくこともありますが、医療人それぞれの「Satisfaction」です。それは待遇面もあるでしょうが、それ以上に適材適所の配置、職場での自分の存在意義、そして仕事での達成感が大きいと思います。時には部分的に我慢を強いられることもあるかもしれませんが、それぞれが、そのような「Satisfaction」をもつことが、所属する病院・・大好き！という発言に繋がり、その思いが結集することにより、組織が勢いづき、若い人たちも引き寄せ、さらなる飛躍に繋がるのだと思います。三豊病院大好き！という人たちの力を結集して、三豊総合病院が、さらに充実、発展されることを祈念いたします。